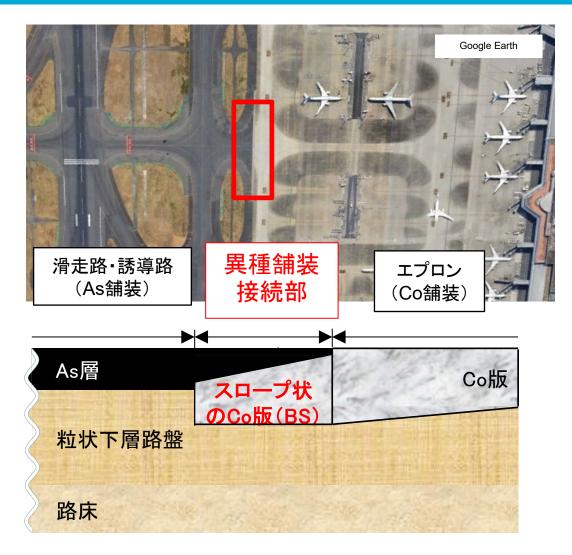
# 航空機荷重を受ける異種舗装接続部の 三次元FEM解析

国土技術政策総合研究所 空港研究部 〇荒井 淳希河村 直哉 坪川 将丈



□ 異種舗装接続部(以下、接続部)

⇒As層の下にスロープ状のCo版(以下、BS)を埋め込んだ構造が多い

## 背景

- □ 接続部のAs層にひび割れが発生
  - ⇒ 補修を行った事例が報告



- □ As層をパッチング等で補修後
  - ⇒再度ひび割れが発生
  - ⇒維持管理上の課題

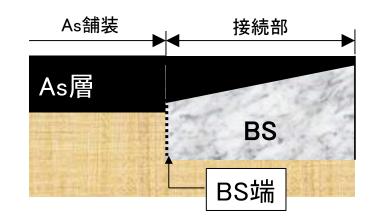


### 目的

- □ BS端上に生じるAs層のひび割れの原因
  - ⇒ BSとAs層の温度による体積変化
  - ⇒┃航空機荷重の作用┃



ひび割れ抑制策を検討



・航空機荷重による接続部の応答を三次元FEMにより解析 現象解明のため ⇒ 荷重の載荷位置 抑制策の検討のため ⇒ As層厚

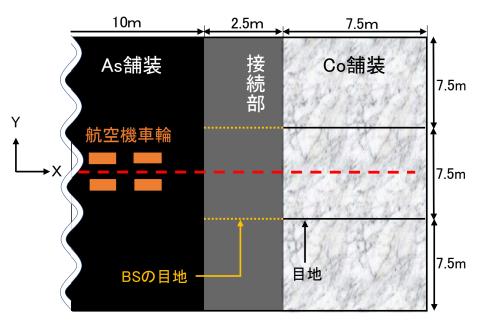
### 解析モデルと条件

- □ 三次元弾性解析プログラム「DIANA」
- □ 舗装の構成は大型ジェット機に対応

輪荷重 ⇒ 256kN

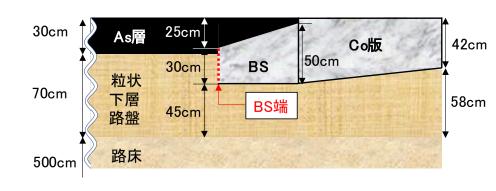
車輪接地圧 ⇒ 1.57N/mm<sup>2</sup>

車輪接地面積 ⇒ 0.49m×0.33m



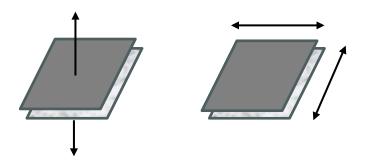
#### □ 解析における材料係数

使用箇所	ヤング係数 E
	(N/mm²)
Со	34,000
As層	5,000
粒状下層路盤	200
路床	100

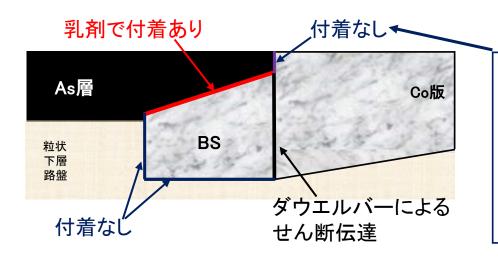


#### BSの境界条件

- □ 面タイプのインターフェイス要素
  - ⇒ 面に対して法線方向と平行方向に剛性を設定



■ BSの条件設定

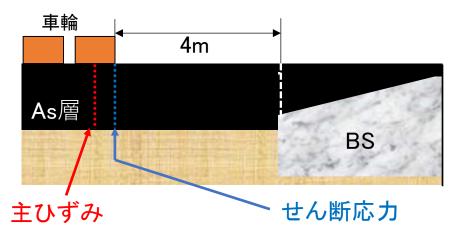


- ・面に対して法線方向圧縮 1,000 N/mm³引張 0 N/mm³(剥がれを想定)
- •面に対して平行方向 0.1 N/mm<sup>3</sup>

## 荷重載荷位置



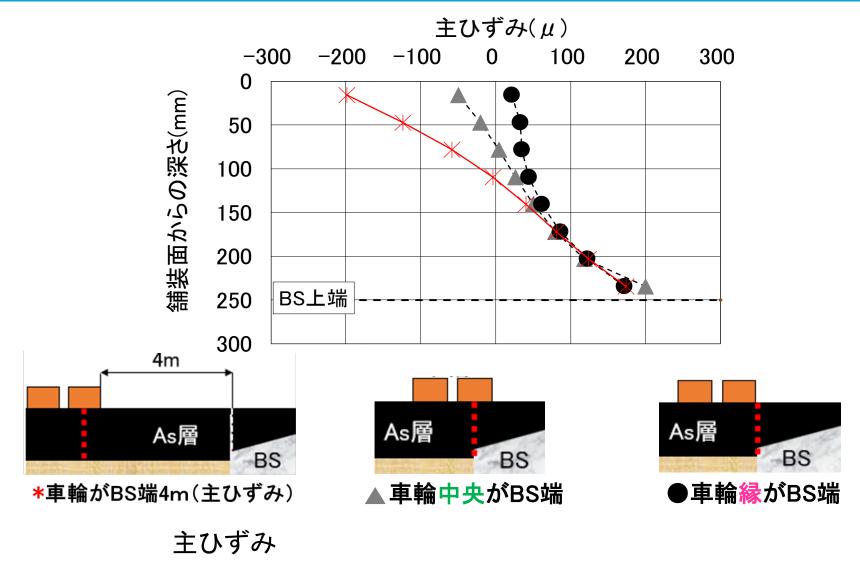
③ 車輪がBS端4m(比較対象)



□ 荷重載荷位置と主ひずみ・せん断応力

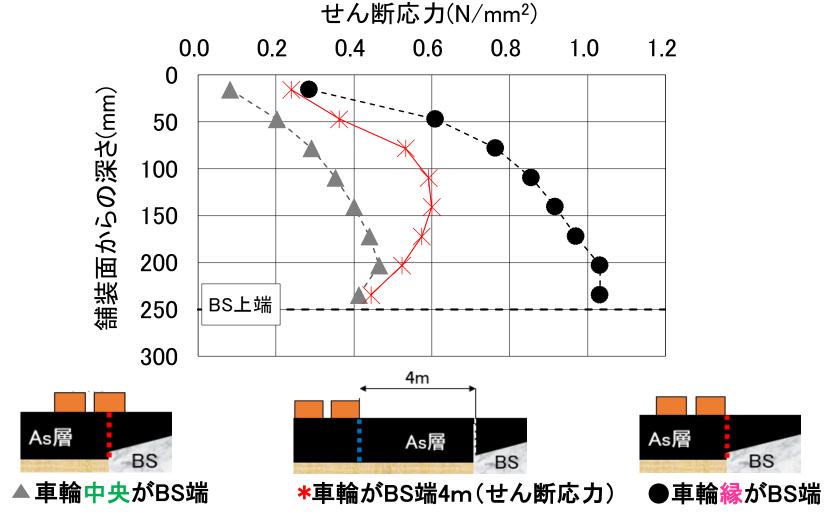
□ As層厚とせん断応力

### 載荷位置と主ひずみ



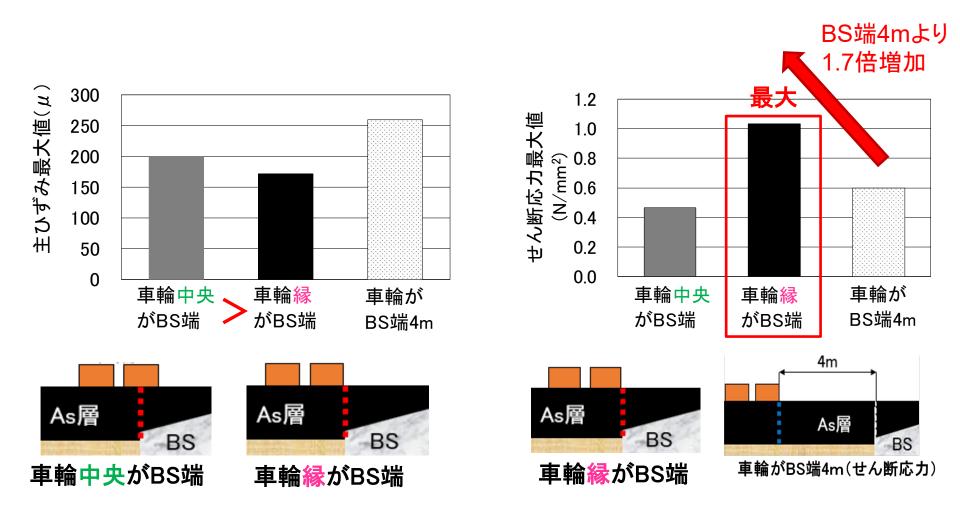
- ⇒ 深くなるに従い大きくなった
- ⇒ BS上端で最大

#### 載荷位置とせん断応力



車輪中央と縁のせん断応力

- ⇒ 深くなるに従い大きくなった
- ⇒ BS上端付近で最大



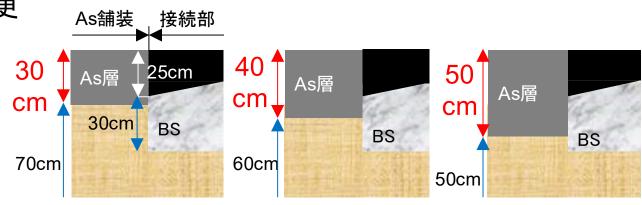
⇒ ひび割れの発生には、せん断応力が寄与している

□ 荷重載荷位置と主ひずみ・せん断応力

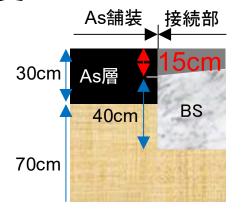
□ As層厚とせん断応力

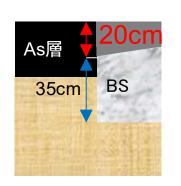
## 解析条件(As層厚)

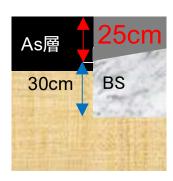
•As舗装のAs層厚を変更



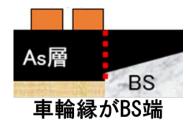
•BS端上のAs層厚を変更







- □ 荷重載荷位置
  - ⇒ せん断応力が最大だった「車輪縁がBS端」



#### AS層厚とせん断応力

0.4

0.2

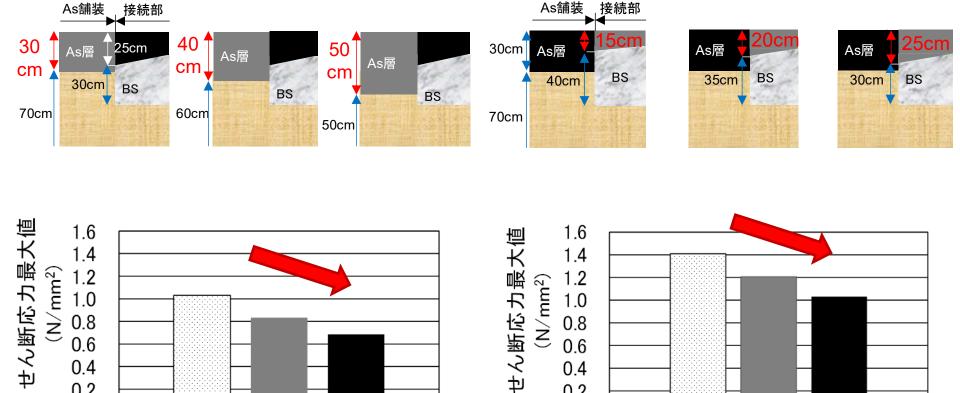
0.0

30cm

40cm

As舗装のAs層厚

50cm



0.4

0.2

0.0

15cm

20cm

BS端上のAs層厚

25cm

As層厚が厚くなるほど、せん断応力は小さくなった

### まとめと今後の課題

#### まとめ

- □ 荷重による接続部のひび割れ発生
  - ⇒ <u>せん断応力</u>が寄与している
- As舗装とBS端上のAs層厚を厚くする
  - ⇒ せん断応力は小さくなり、As層を厚くすることでひび割れ抑制できる

#### 今後の課題

- □ BSの境界面の条件設定
  - ⇒ BS上を「付着なし」で解析
- □ 解析結果の妥当性の確認
  - ⇒ 試験舗装内にひずみ計を設置し確認